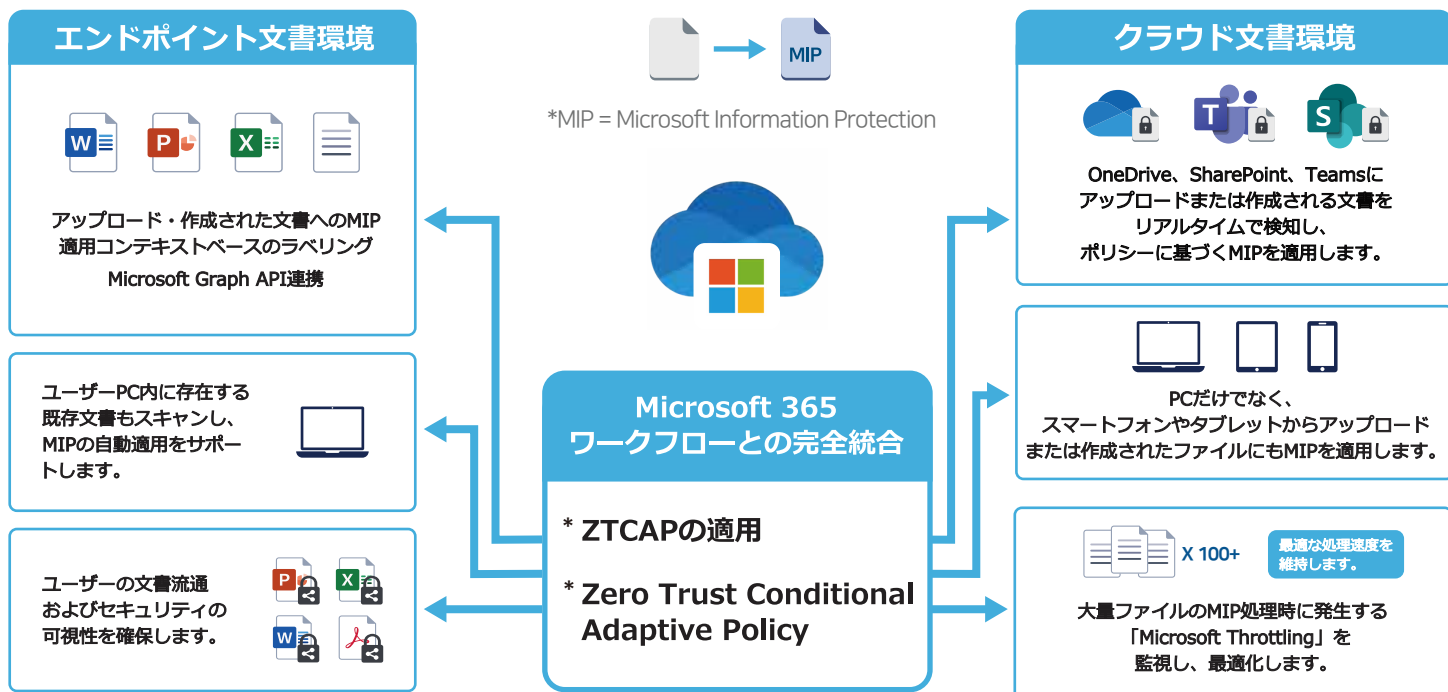


クラウドネイティブ 文書セキュリティ・オーケストレーション

SHIELD DRM（シールドディーアールエム）は、クラウドおよびAI環境においても、データそのものにポリシーを適用することで保護を継続する文書セキュリティサービスです。



MIPの自動適用率99.9%

MIPの自動適用率は99.9%に達します。文書の作成・保存時に、ユーザー／部門ごとの管理者ポリシーに基づき、ユーザーの介入なしでMIPを自動適用します。

ユーザー介入ゼロ

セキュリティは自動で、業務環境はそのままに。ユーザーの介入なしでも、一貫したデータ保護を実現します。

可視性 (Visibility) 100%

Microsoft 365で発生する文書の作成・更新、MIPの適用および変更履歴をリアルタイムで収集し、文書ライフサイクル全体を可視化します。

インシデント対応時間を50%削減

統合ログと文書アクティビティの可視性を基盤に、セキュリティインシデント発生時の原因分析と対応時間の短縮を実現します



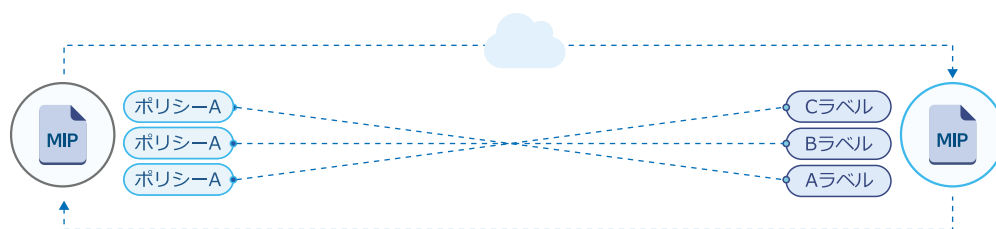
SHIELD DRMの主な特長

01
Microsoft 365 MIP暗号化の適用

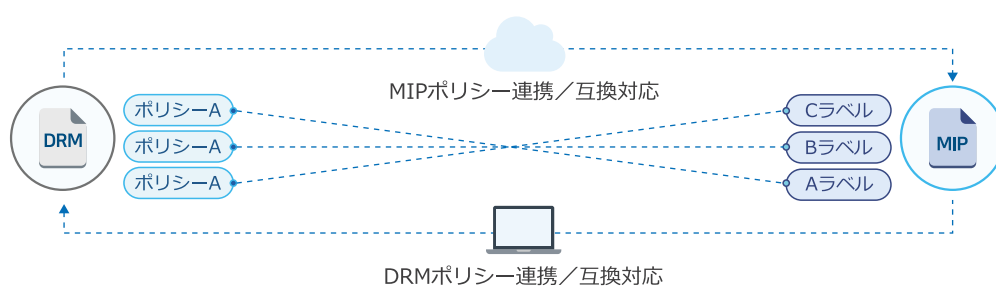
ユーザーがローカルPC上の文書を、Microsoft 365のようなクラウド環境へ別途操作なくアップロードすると、MIP（暗号化などのラベルポリシー）が自動的に適用されます。

02
クラウドコラボレーションのためのゼロトラストセキュリティ

組織・企業で設定されたZTCAP（Zero Trust Conditional Adaptive Policy）に基づき、セキュリティポリシーを連携・互換性を保ちながら適用できます。

03
コンテキストベースのラベリング

チーム、サイト、フォルダーパス、拡張子など、さまざまなコンテキストを組み合わせることで、きめ細かなラベリングポリシーを適用します。

04
可視性に基づく対応スピードの向上

統合ログと文書アクティビティの可視性を基盤に、セキュリティインシデント発生時の原因分析および対応時間を最大50%まで短縮できます。

